

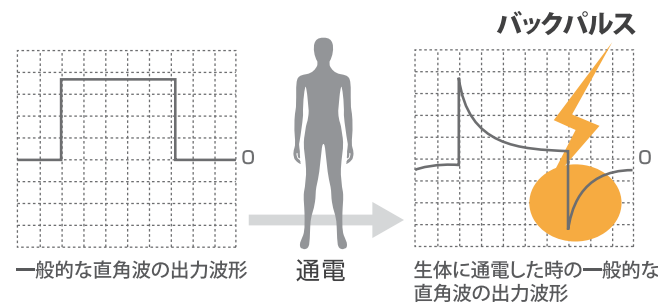
独自の[波形]と[温熱導子]が見せる、 圧倒的な通電効率の良さ。

生体とパルス波の関係を徹底研究し、治療時の体感の良さを実現

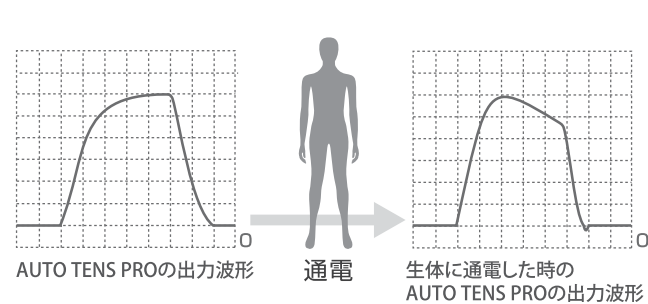
●通電効率の比較Ⅰ／【波形】

独自の指数関数漸増波を用いることにより、ひずみを抑えて効率よく通電します。

一般的な波形の変化

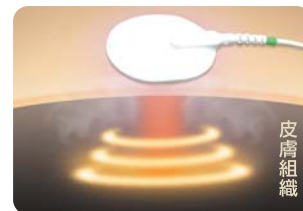


AUTO TENS PROの波形の変化

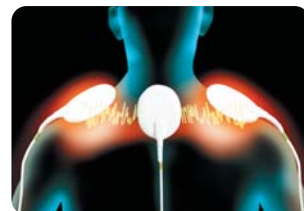


●通電効率の比較Ⅱ／【温熱導子】

温熱導子は、あえて水を含ませて使用します。水と温熱の作用で肌を蒸した状態にし、皮膚の角質バリアを緩ませてから電気を流すことで、皮膚のチクチクした痛みをなくし、通電効率を上げることができます。



イメージ図



イメージ図

■本体セット



・外部停止ボタン



・専用ワゴン



※ ホットボックス(メーカー推奨)のご注文も承ります。
※ 商品改良のため予告なく一部仕様を変更することがあります。

■仕様

種別:理学診療用器具低周波治療器(特定保守管理医療機器)

認証番号	224AHBZX00015000	電氣的仕様	
型番	ATPRUⅡ-0013	定格電源電圧	100[V] (50/60Hz)
本体寸法・質量・付属品		電源消費電力	43[VA]
寸法	幅380×奥行370×高さ270[mm]	電撃に対する保護の形式	クラスⅡ BF形装着部
重量	7[kg]	最大出力電圧	132[V] (500Ω負荷接続時)
付属品	温熱導子(大1個・小2個)／ベルト(大1本・小2本)／	最大出力電流	46mA (500Ω負荷接続時)
	入力ヒューズ(1A)／導子ベルトコネクター(3個)／	出 力 波 形	指数関数的漸増波
	導子コードキーパー(2個)／本体ビニールカバー(1枚)／	治 療 周 波 数	3～1000Hz
予備ヒューズ(1本)		バランス調整	左右出力差±25%
【リハビリユニット】		タ イ マ ー	ATP: 最長15分(1分毎に設定)
分岐装置(1台)／本体接続ケーブル(1本)／接続コード(2本)			リハビリユニット: 最長50分(5分毎に設定)
ベルト電極(腰 1本・大 2本・小 2本)／水差し(1個)		導子温度設定	最高43℃(5段階調整)

△危険



次の患者には使用しないこと。

・ペースメーカーなどの体内植込み型医用電気機器を装着した患者
・その他、医師が不適当と診断された方

株式会社 **ホーマイオン研究所**
オハヨーニ サンキュー
東京都渋谷区神泉町17-2 **0120-0842-39**

QRコード



ホーマイオン研究所 公式HP
<http://www.homerion.co.jp/>

発売元

AutoTENS PRO Rehabili Unit

オートテンスプロ リハビリユニット

下肢すべての 筋肉を動かす

ベルト電極式骨格筋電気刺激法

B-SES Belt electrode -
Skeletal muscle
Electrical
Stimulation



リハビリテーションにおける「総合電気刺激装置」

下肢すべての筋肉を動かす 全く新しい電気刺激

運動耐容能とADLを向上



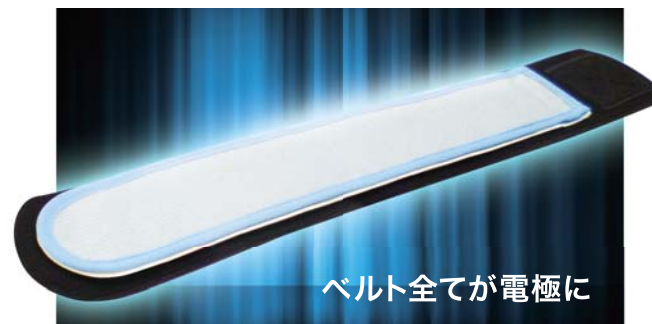
「B-SSES」

筒状に流れる電気で、下肢全体を一度に電気刺激できます

ベルト全てが電極となっており、脚の周囲に巻きつけることで、電気が筒の状態となって下肢全体に流れます。また、電極面積も非常に大きくなるため、一カ所あたりの電位分布が分散され、痛みを感じずに強い筋収縮を行えるようになりました。更に、体内の70%の筋肉を占めている下肢全てを動かすことで、エネルギー消費を高め、効果的な運動代用も行えます。

ベルト電極式骨格筋電気刺激法

B-SSES
Belt electrode -
Skeletal muscle
Electrical
Stimulation
ビーセス



ベルト全てが電極に

※B-SSES(ビーセス)とは、Belt electrode Skeletal muscle Electrical Stimulationの略称です。

筋力トレーニングと有酸素運動を目的別に実施

筋力トレーニング

20Hzの電気刺激で筋を連縮させ、強い筋収縮を誘発します。血中乳酸濃度を高めて下肢全ての筋力を増強、および筋量を増大することができます。

有酸素運動

人間の身体で、最もエネルギーを消費する臓器は筋肉です。その筋肉の70%が下肢にあり、その下肢全ての筋肉を動かすことでエネルギー消費量は非常に大きくなります。4Hzの電気刺激で連続的に筋を大きく動かすことでエネルギー代謝や糖代謝を亢進することができます。

多様なリハビリテーションの要求を サポートする総合電気刺激装置



神経筋再教育・促通

脳血管疾患や整形外科疾患の上肢・下肢の随意性を高める為に、電気刺激による筋収縮と自動運動を同期させることで神経筋促通効果が得られます。



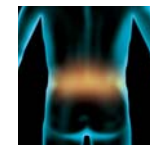
筋力強化

筋力が低下した筋肉を選択的に動かすことができます。強い筋収縮を誘発し血中乳酸濃度を高め筋力を増強します。



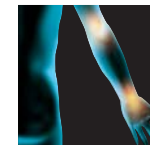
痙性抑制

痙性筋の拮抗筋を刺激することで相反抑制により痙性の筋緊張を抑制します。



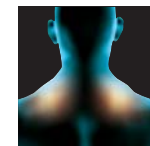
侵害受容性疼痛

ゲートコントロール理論により太い神経の活動を高め痛みを中枢に伝える門を閉ざし疼痛を軽減します。更に内因性鎮痛物質を分泌させ、効果を持続させます。



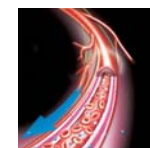
神経因性疼痛

交感神経が亢進した疼痛に対し、漸減性周波数による電気刺激を行うことで交感神経抑制効果があります。



筋緊張の緩和

筋スパズムに対し適度な筋収縮を起こすことで筋ポンプ作用により血行を良くし、筋緊張を緩和します。



血行促進

筋ポンプ作用により血液やリンパの流れを良くします。更に交感神経を抑制してリラックスさせます。

※ 今後求められる 高度なリハビリテーションの要求に対して

リハビリテーションの現場では、より難渋する患者への対応が求められる一方で負荷が思うようにつけられない現状が多くあります。

- ① 重度の循環器・呼吸器疾患に対しても他動運動のため動悸や呼吸困難を伴わずバイタルも安定して運動が行える
- ② ICUなどでの鎮静状態や術後早期に運動を行い、筋萎縮予防や術後高血糖を抑制する
- ③ 整形術後免荷を伴う場合や起立性低血圧症で自重を掛けられない場合でもベッド上で安全に運動が行える
- ④ 麻痺や寝たきりで既に筋力や随意性が低下した患者への運動が行える
- ⑤ 疼痛が強い、意識障害など筋収縮が入りにくいまたは運動モチベーションが低下した患者への対応が行える
- ⑥ 透析中ベッド上での運動や低血圧を抑制する

「リハビリユニット」は、ベッドに寝た状態でも安全に運動が行えます。

有酸素運動から筋トレの高い運動負荷まで、症例に合わせた運動をベッド上で安全に実施することができます。従来アプローチに難渋してきた患者へのもう1つの選択肢となる可能性があります。